



令和四年度臨時総会

# 青 垣

第 59 号

令和五年三月二十五日発行

奈良県橿原市久米町九三四

奈良県神社庁内

発行所 奈良県神道青年会

電話〇七四四一三四七三

編集者 広報 部



## 会長挨拶

大神神社

権瀬宜 久保田 昌伯

令和三年四月より奈良県神道青年会会長としての任期が始まりましたが、残すところ日数はわずかとなりました。

令和三年度に続き今年度もコロナ禍でありましたが、県内の活動を参会して行う方向で話しを進めてきました。毎月の会議もWEBが中心ではありましたが、参会しての会議も再開させることが出来ました。その中で昨年度より話し合いを進めてきた宮崎県神道青年会との姉妹神青締結十周年記念事業には持田・串間両先輩をはじめ、両県の役員会員が参加し、皆様ご協力のもと事業を実施することができました。

この事業を通して多くの会員に宮崎県との姉妹神青締結に至るまでの当時の先輩の想いを知ってもらうことが出来たのではないかと思います。

また、三年ぶりに南都聖和会との交流事業も実施することができ、コロナ禍で開催を見



祝祭日には  
国旗を  
揚げましょう

高山の かげをうつして

ゆく水の 低きにつくを

心ともがな

昭憲皇太后御歌

送っていた事業も徐々に再開へ動き出すことが出来たと思います。何れの事業も開催について皆が、その時その時の現状を理解し、開催方法を模索し話し合った時間は今後の青年会活動にも生かされてゆくとお思います。

さて、令和五年一月には臨時総会を開催し、次期の会長並びに監事が決まり、五月開催予定の総会にて役員改選となり新体制へと移行します。また、令和六年は当会の創立六十周年の年となります。

次期を担う皆様には今後コロナ禍からの脱却が加速してゆくとお思います。お互いの状況を共有し、話し合いを重ねて今後も一人でも多くの会員が一つでも多くの事業に参加し、青年会活動に関わってもらうことが出来るよう、また当会との関り深い宮崎県神道青年会、南都聖和会をはじめ関係の皆様と今後より良い事業が継続して行うことが出来るよう願っております。

最後になりますが、私達が青年会活動を行うには各奉務神社のご理解、先輩方のご協力がなければ成り立ってゆきません。皆様方には今後も奈良県神道青年会へのご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

令和4年度 定例総会

去る令和4年四月二十二日に奈良県神社庁にて会員十八名出席のもと令和4年度定例総会が開催された。

議事では議長に伊藤理事が選出され、令和3年度活動報告と決算報告、会計監査報告が行われ承認を受けた。そして樋口事務局長より令和4年度活動計画案、大森会計より令和4年度予算計画案が提出され、異議なく承認を受け、定例総会を恙なく終えることができた。



奈良県神道青年会 活動報告及び計画

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

月	日	内 容	場 所
4月	12日	神道青年近畿地区連絡協議会 会計監査	橿原神宮
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 会計監査懇親会	田楽畝傍店
	15日	奈良県護国神社春季大祭 助勤奉仕	奈良県護国神社
	同日	令和3・4年度 第12回理事役員会	WEB会議
	19日	神道青年近畿地区連絡協議会 第11回事業委員会	何生館・WEB会議
	20日	奈良県神道青年会 会計監査	石上神宮
	22日	令和4年度 定例総会	奈良県神社庁
	25日	神道青年全国協議会 第11回役員会	神社本庁
	同日	神道青年全国協議会 渉外委員会	新宿
	26日	神道青年全国協議会 第73回定例総会	神社本庁・WEB会議
5月	10日	神道青年全国協議会 第12回役員会	石垣空港会議室
	11日	沖縄本土復帰50周年奉告祭	波照間島
	15日	沖縄本土復帰50周年記念日国土平安祈願祭	各奉務神社
	同日	令和3・4年度 第13回理事役員会	WEB会議
	16日	神道青年近畿地区連絡協議会 第12回事業委員会	WEB会議
	20日	神道青年全国協議会主催「デジタル社会における神社の在り方」を学ぶウェブ研修会	WEB会議
	23日	姉妹神青交流事業「締結10周年記念対談」 ※延期	宮崎県
	26日	神道青年近畿地区連絡協議会 第五回役員会	京都府神社庁
	27日	神道青年近畿地区連絡協議会 野球大会	鴻ノ巣運動公園
6月	9日	神道青年近畿地区連絡協議会 第13回事業委員会	WEB会議
	11日	令和3・4年度 第14回理事役員会	WEB会議
	13・14日	神道青年全国協議会全日本仏教青年会合同事業	京都府
	16日	神道青年近畿地区連絡協議会 第6回役員会	京都ブライイトホテル
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 令和4年度定例総会並研修会	京都ブライイトホテル
	24日	神宮大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁
	27・28日	神道青年全国協議会 沖縄戦全戦没者慰霊祭打合せ	波上宮、沖縄県護国神社
	28日	神道青年全国協議会渉外委員会	沖縄県
7月	6日	神道青年近畿地区連絡協議会 第14回事業委員会	WEB会議
	8日	神道青年近畿地区連絡協議会 世界平和祈願祭齋行	橿原神宮
	12日	石上神宮 禊場清掃奉仕	石上神宮
	13日	神道青年全国協議会第14回役員会	隠岐文化会館

	同日	神道青年全国協議会渉外員会	隠岐文化会館
	14日	神道青年全国協議会勉強会 竹島之碑現状視察及清掃奉仕	水若酢神社、隠岐の嶋
	21日	令和3-4年度 第15回理事役員会	WEB会議
	25日	禊・鎮魂鍊成研修会	石上神宮
	26日	神道青年近畿地区連絡協議会 第1回役員会	大阪府 露天神社
	30日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」公演 ※中止	春日大社
8月	15日	奈良県出身戦没者追悼式 助勤奉仕・参列	奈良県護国神社
	23日	神道青年近畿地区連絡協議会 勉強会「心の源泉を求めて～神道のこころ～」	WEB会議
	24日	令和3-4年度 第16回理事役員会	WEB会議
	30-31日	神道青年全国協議会 令和4年度夏期セミナー	WEB会議
9月	2日	神道青年全国協議会 WEB研修会「神職のための神宮研修会」	WEB会議
	5日	神道青年近畿地区連絡協議会 第2回役員会並びに第1回連絡会	WEB会議
	12日	兵庫県神道青年会 再建55周年記念式典	湊川神社
	16日	奈良県護国神社清掃奉仕	奈良県護国神社
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第16回事業委員会	生國魂神社
	18日	令和3-4年度 第17回理事役員会	WEB会議
	20日	姉妹神青交流事業 「姉妹神青締結10周年記念事業～10年の足跡 次世代への道標～」	WEB会議・宮崎県
	21日	姉妹神青交流事業	宮崎県
	27日	奈良県神社庁神宮大麻頒布推進委員会出席	奈良県神社庁
10月	13日	神道青年近畿地区連絡協議会 第17回事業委員会	WEB会議
	18日	令和3-4年度 第18回理事役員会	橿原神宮
	21日	第28回全国戦歿学徒追悼祭奉仕・参列	全国戦没学徒記念 「若人の広場公園」
	22日	奈良県護国神社秋季大祭助勤奉仕	奈良県護国神社
	27日	神道青年全国協議会 沖縄本土復帰50周年記念事業沖縄戦全戦歿者慰霊祭 奉仕・参列	沖縄県護国神社
	31日	南都聖和会との親睦交流会(唐招提寺御影堂拝観研修)	唐招提寺
11月	9日	奈良県神社関係者大会助勢	橿原神宮
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第18回事業委員会	杯杯天山閣
	同日	大麻頒布推進委員会	なら歴史芸術文化村
	17日	神道青年全国協議会 令和4年度臨時総会	神社本庁・WEB会議
	25日	令和3-4年度 第19回理事役員会	石上神宮
	28日	第34回近畿神社庁連合総会	ホテルグランヴィア和歌山
12月	5日	神道青年近畿地区連絡協議会 令和4年度臨時総会並第2回連絡会	帝国ホテル大阪
1月	16日	令和3-4年度 第20回理事役員会	WEB会議
	20日	大寒禊	石上神宮
	23日	令和4年度臨時総会	橿原神宮
	27日	国旗掲揚推進1・27御堂筋パレード	御堂筋
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第19回事業委員会	WEB会議
2月	13日	神話紙芝居団「かたりべまほろば」公演	奈良県立椿井小学校
	21日	神道青年近畿地区連絡協議会 第20回事業委員会	天繁
	25日	令和3-4年度 第21回理事役員会(新旧)	個室居酒屋いもの屋わん 大和八木店
	27日	神道青年近畿地区連絡協議会 第4回役員会	ホテル日航大阪
	同日	神道青年近畿地区連絡協議会 第3回連絡会	ホテル日航大阪
	28日	神道青年近畿地区連絡協議会 地区研修会	大阪万博記念公園
3月	8-9日	神道青年全国協議会 令和4年度中央研修会	徳島グランヴィリオホテル
	14日	大麻頒布推進委員会	奈良県神社庁
	16日	神道青年近畿地区連絡協議会 親睦ゴルフコンペ	東急グランドオークゴルフクラブ
	17日	神職氏子合同研修会助勢	橿原神宮会館
	19日	令和3-4年度 第22回理事役員会	橿原神宮
	30日	神道青年近畿地区連絡協議会 第21回事業委員会	トラウム

## 奈良県神道青年会 令和3年度一般会計決算書

## 歳入の部

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日) 単位:円

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
年 会 費	300,000	315,000	15,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費1名5,000円
助 成 金	580,000	580,000	0	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 葛木坐火雷神社 100,000円 神社庁支部 10,000円
事 業 収 入	166,000	167,000	1,000	鎮守の杜頒布
雑 収 入	16,877	11	△ 16,866	預金利息等
前年度繰越	1,087,123	1,087,123	0	
歳入合計	2,150,000	2,149,134	△ 866	

## 歳出の部

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
神 事 費	30,000	0	△ 30,000	玉串料
会 議 費	25,000	20,936	△ 4,064	役員会 会議費
事 務 費	60,000	63,862	3,862	郵送料他 事務局 (諸社)
会 員 派 遣 費	600,000	73,900	△ 526,100	神青協諸行事・近畿地区諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 年賀広告費 3,000円
宣 布 費	60,000	31,896	△ 28,104	ホームページ年間維持費
事 業 費	650,000	269,022	△ 380,978	青垣発行 鎮守の杜購入 勉強会 講師料他
特 別 事 業 費	75,000	0	△ 75,000	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」助成
雑 費	34,000	2,679	△ 31,321	慶弔費・振込手数料他
繰 出 金	—	300,000	300,000	逆境基金へ繰出し
予 備 費	405,500	0	△ 405,500	
歳出合計	2,150,000	972,795	△ 1,177,205	

(歳入合計) 2,149,134円-(歳出合計) 972,795円=1,176,339円(次年度へ繰越)

## 奈良県神道青年会 令和3年度特別会計決算書

## 収入の部

## 支出の部

(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日) 単位:円

科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	4,613,292	令和2年度より	事業品調製費	101,088	大和茶
事 業 収 入	117,000		振込手数料	440	
雑 収 入	38	預金利息			
合 計	4,730,330		合 計	101,528	

(収入合計)4,730,330円-(支出合計)101,528円=4,628,802円(次年度へ繰越)

## 奈良県神道青年会 令和3年度逆境にある人々応援基金決算書

収入の部			支出の部 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日) 単位:円		
科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	527,142	令和2年度より			
雑 収 入	300,000	令和3年度一般会計より繰入			
	4	預金利息			
合 計	827,146		合 計	0	

(収入合計)827,146円-(支出合計)0円=827,146円(次年度へ繰越)

## 奈良県神道青年会 令和3年度「かたりべまほろば」活動基金決算書

収入の部			支出の部 (自令和3年4月1日 至令和4年3月31日) 単位:円		
科 目	決算額	備 考	科 目	決算額	備 考
前年度繰越金	621,373	令和2年度より			
活動協力金	20,000				
雑 収 入	4	預金利息			
合 計	641,377		合 計	0	

(収入合計)641,377円-(支出合計)0円=641,377円(次年度へ繰越)

## 奈良県神道青年会 令和4年度一般会計予算書

歳入の部				(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日) 単位:円
科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
年 会 費	300,000	315,000	15,000	会員年会費 1名5,000円 賛助会員年会費1名5,000円
助 成 金	580,000	610,000	30,000	神社庁 150,000円 春日大社 100,000円 大神神社 100,000円 橿原神宮 100,000円 神社庁各支部 130,000円 葛木坐火雷神社 10,000円 近畿地区助成金(禊魂錬成研修会) 20,000円
事業収入	166,000	166,000	0	鎮守の杜頒布
雑 収 入	16,877	16,661	△ 216	祝金 預金利息等
前年度繰越	1,087,123	1,176,339	89,216	
歳入合計	2,150,000	2,284,000	134,000	

## 歳出の部

科 目	前年度予算額	今年度予算額	比較増減	備 考
神 事 費	30,000	40,000	10,000	玉串料
会 議 費	25,000	55,000	30,000	役員会 会議費 湯茶他
事 務 費	60,000	70,000	10,000	郵送料他 事務局(諸社)
会員派遣費	600,000	600,000	0	神青協諸行事・近畿地区諸行事・姉妹神青諸行事
負 担 金	210,500	210,500	0	神青協醸出金 82,500円 近畿地区負担金 125,000円 神青協年賀広告費 3,000円
宣 布 費	60,000	250,000	190,000	ホームページ年間維持費・ホームページ修正費
教 化 費	—	300,000	—	青垣発行 鎮守の杜購入
事業費	650,000	500,000	△ 150,000	勉強会 講師料 姉妹神青他
特別事業費	75,000	0	△ 75,000	皇居勤労奉仕「青垣奉仕団」令和4年度中止
雑 費	34,000	34,000	0	慶弔費 振込手数料他
予 備 費	405,500	224,500	△ 181,000	
歳出合計	2,150,000	2,284,000	134,000	

# 神道青年近畿地区 連絡協議会 野球大会

去る令和四年五月二十七日、京都府鴻ノ巣山運動公園に於いて、会員七十八名出席のもと、親睦野球大会が開催された。前日からの雨で天候が心配される中ではあったが当日朝には晴れ間がのぞき、当番府県である京都神青の尽力でグラウンドの状態も良く、素晴らしい環境でプレイすることが出来た。

Aブロックでは兵庫神青が初戦の滋賀神青を下し、勢いをそのままに前大会覇者の京都神青にも勝利し、決勝へと駒を進めた。一方Bブロックでは奈良神青が初戦の和歌山神青、続いて大阪神青を危なげない試合運びで勝利し、決勝進出を決めた。

決勝戦では、奈良神青が一点を先制し、三回まで一―〇と接戦を繰り広げた。最終回まで相手に失点を許さず、攻め切った奈良神青が兵庫神青を八―〇で下し、優勝を決めた。試合後に行われた表彰式では近畿地区西田会長より奈良神青に優勝旗が手渡され、今大会は終了した。

この親睦野球大会は、天候やコロナ禍の影響により実に四年ぶりの開催であった。懇親会は中止する等まだまだ元通りという訳にはいかないが、選手達には待ちに待った大会であり、参加した選手皆の非常に活き活きとした表情が印象に残る良い大会となった。  
(高鴨 鈴鹿)

## 各単位会の順位は以下の通り

- |     |           |
|-----|-----------|
| 優勝  | 奈良県神道青年会  |
| 準優勝 | 兵庫県神道青年会  |
| 三位  | 京都府神道青年会  |
| 四位  | 大阪府神道青年会  |
| 五位  | 滋賀県神道青年会  |
| 六位  | 和歌山県神道青年会 |



7/12

## 石上神宮禊場清掃奉仕

去る令和四年七月十二日に石上神宮禊場を始め、長生殿の除草、禊場周辺の木々の伐採等、鈴鹿副会長以下九名で清掃奉仕を行った。

毎年、石上神宮で神道青年近畿地区連絡協議会の事業である禊・鎮魂鍊成研修会が行われているが、令和二年より新型コロナウイルスの影響で研修会が中止されていた。本年は約三年振りの開催となり、清掃奉仕に参加した会員は例年よりも力が入っていた。

午前中は禊場班と禊場周辺の木々伐採班の二班に分かれて清掃奉仕をし、禊場班は高圧洗浄機を二台使用し苔による汚れを落とす作業を行い、伐採班は川に落ちていた大きい石等の撤去作業と倒木寸前の木の伐採作業及び枝打ち作業を行った。

午後からは小雨に見舞われたが、全員で禊場に斎竹を立て注連縄を張り、また長生殿前の除草作業を行った。

全ての作業を終えた後の禊場は、やはり幻想的な美しい



雰囲気にも包まれ、この場所で禊が出来るのだと思うと大きな高揚感が溢れて来た。これから行われる錬成研修会がより実りのある機会になるようお願いしている。  
 (石上 渡邊)



7/25

禊・鎮魂錬成研修会

去る令和四年七月二十五日、石上神宮に於いて、禊・鎮魂錬成研修会が開催された。本研修では奈良県神社庁錬成行事助彦である石上神宮 欄宜 道上昌幸様を講師としてお迎えし、近畿地区西田会長をはじめ十九名が参加した。

当日早朝より拝殿にて正式参拝と開講式が行われ、当番府県を代表して久保田会長が挨拶を述べ、研修が始まった。午前中は長生殿にて禊祓行事並びに鎮魂行事の歴史や心構え等の神道行法についてのご講義を戴いた後、禊・鎮魂行法の型指導を実施して戴いた。

午後からは実際に禊場に進入祓戸神社に参拝、禊祓行事を行った後、拝殿にて鎮魂行事を行った。

その後、正式参拝を行い、続き閉講式ではご来賓として奈良県神社庁参事 西口学様よりご挨拶を戴き、西田会長が代表して修了証を受け取り謝辞を述べた。また、道上先生より受講生それぞれの名前を記した健康長寿の御守「玉の



緒」の授与があり、受講生を代表して兵庫神青千種会長が拝受した。  
 実に三年ぶりに開催された本研修では、新型コロナウイルスまん延防止の観点から従来の日程の一泊二日ではなく一日での開催となった。然しながら、国宝である石上神宮の拝殿は宮中の神嘉殿を賜ったものであり、その拝殿にて長く秘伝とされてきた鎮魂行法を行うことの出来る体験は何物にも代えがたく大変貴重な機会であった。  
 (高鴨 鈴鹿)

8/15

奈良県出身戦没者追悼式助勤 奉仕・参列

去る令和四年八月十五日に奈良県護国神社にて、英霊にこたえる会奈良県本部主催の戦没者追悼式が行われた。当会より久保田会長をはじめ、祭員・俗人として六名の会員が奉仕させていただいた。昨年まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して斎行されていたが、本年より案内の規模を少し広げ国会議員や県会議員の方々を始め、県内外より御遺族の方々も参列された。例年行われていた大正琴の演奏に合わせた『同期の桜』『ふるさと』の合唱は本年も残念ながら中止となったが、境内には当会の会員が奏でる雅楽の旋律が響きわたり、各々が式中、心静かに御霊への祈りが捧げられた。

今回の経験を通じ、青年神職の一人として追悼式への奉仕、慰霊を継承し、伝えること、顕彰事業への参加してゆくことの大切さを感じた。最後に終戦から七十七年を迎えるに当たり、奈良県出身戦没者の御英霊に感謝の誠を捧げたいと思う。  
 (大神 松村)

9/16

奈良県護国神社清掃奉仕



去る令和四年九月十六日に奈良県護国神社の清掃奉仕を行った。

本年十月には同社が御鎮座八十年を迎えるにあたり、秋季大祭に併せて御鎮座八十年の奉祝祭が斎行予定であった。そこで青年神職として何か出来ることはないかという思いから、令和三年に実施した境内の清掃奉仕を実施することとなった。

当日は晴天に恵まれ、久保田会長以下六名が参加した。

清掃は二の鳥居周辺の清掃、芝生の芝刈、また除草剤の散布を中心に行った。日差しが強い中であつたが、各々が熱中症対策を取りながら

機械等を使用した作業にあつた。片付けを済ませた後に拝殿前にて清掃の報告とともに英霊の御霊が安らかであるよう皆で参拝し解散した。



(大神 藤林)

9/20

姉妹神青締結十周年の節目を迎え

姉妹神青締結十周年の節目を迎え、令和四年九月二十日に神武天皇ご降誕の地、宮崎県に於いて姉妹神青交流事業が宮崎県神道青年会、奈良県神道青年会の共催によって行われ、運営のため当会からは四名が現地へ向かった。

初日は、K I T E Nビルにて勉強会がハイブリット形式で行われた。「姉妹神青交流事業締結十周年記念対談〜十年の足跡・次代への道標〜」をテーマとし、姉妹神青を締結された宮崎県串間祥亮先輩・奈良県持田照久両先輩を講師にお迎えし対談形式で開催された。締結された当時の思いをお二方から聞かせていただくことで次世代の事業に繋げていくことが趣旨である。両先輩は当時思い描いた事はすべて姉妹神青締結之証に記されているとし、そこには建国の古を



偲び、国を愛する正しい心を養い、国体護持の柱石となるべき青年神職としての自分を全うし更に会員相互の交流を深め切磋琢磨し互いに翼け合う為としていた。その為多くの同志に出会うことが重要であるが、コロナ禍においてはそれも難しく、Z O Mなどの新しいツールでの繋がりが重要であると述べられた。

その後、グループディスカッションを行った。皆の意見で最も多く見受けられたのは、神武天皇の聖蹟地を姉妹神青で巡る事であった。次に奈良県で交流会を行う際は、神武天皇所縁の地を巡る事を案の一つとして考慮したい。





姉妹神青締結10周年  
記念事業 記念動画  
右のQRコードより →  
ご覧いただけます



荘厳な雰囲気の内にあるお社で

面に削られた洞窟

内にはない海に

面しており、波

宮であつた。奈

の佐師会長が

奉務する鶴戸神

物であつたこと、

またお供え物と

しても最上であ

つたことが伺え

た。次に伺つた



二日目は宮崎神青佐師会長、金丸事務局長にご案内いただき、県内の神社を巡拝した。まず最初に日高副会長が奉仕する榎原神社に参拝した。特に印象に残ったのは榎原神社横に鎮守する桜井神社である。同神社の横木には伊勢海老の装飾が施されており、宮崎県海老が主要な産物であつたこと、またお供え物としても最上であつたことが伺えた。次に伺つたのは佐師会長が奉務する鶴戸神宮であつた。奈良にはない海に面しており、波に削られた洞窟内にあるお社で荘厳な雰囲気の内

山魅夷画伯奉  
和上座像や東  
国宝、鑑真  
だいた。

財を厳かに拝  
観させていた

の貴重な文化

れた御影堂内

を移築復元さ

れていた建物

舎として使わ

や裁判所の庁

治以降は県庁

別当坊で、明

時代に建てら

れ、興福寺の

都聖和会との

合同研修会に

参加して

去る令和四年



**10/31**  
南都聖和会との  
合同研修会に参加して

を借りて御礼申し上げます。(等彌 尾田)

また、この度、宮崎県の皆様におかれましては台風十四号の被害復旧の最中、言葉では言い

尽くせない程のおもてなしをして頂き、この場

の繋がりをより密にするため交流を続けていき

たい。

この度の経験は姉妹神青交流事業の大きな糧



運びたいと思える充実した日であつた。(榎原 西前)

を求めて拝観される方が多いような気がする。

長引くコロナ禍の終息と世界が一日も早く平和

になりまします様願ひ、可能な限り神社仏閣に足を

運びたいと思える充実した日であつた。

今「インスタ映え」等で多くの方が映える

納御影堂障壁画を初めて観るドキドキ感

生の頃、歴史の時間に習った「あの人」である

という記憶が蘇った。

12/5

神道青年近畿地区連絡協議会  
臨時総会並第二回連絡会

令和四年十二月五日に帝国ホテル大阪にて神道青年近畿地区連絡協議会臨時総会並第二回連絡会が開催された。

六十三名の出席の下、研修会では、枚岡神社宮司中東弘様より「笑えば心の岩戸が開かれるー1天の岩戸開きと祭祀ー」と題しご講演戴いた。一時間という短い時間ではあったがとても意義のある時間となった。

研修会の後、臨時総会並第二回連絡会が行われ、開会の辞、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領の唱和が行われた。

議事では次期会長・監事の選出がなされ承認された。続いて中央報告、神青協特別委員会報告、近畿地区事業委員会報告、各単位会による報告が行われた。

総会は肅々と進行され、神道青年の歌斉唱、美はしき山河斉唱の後、聖寿の万歳を行い滞りなく納められた。

その後、新型コロナウイルス感染症の対策を取り五十九名の出席の下懇親会が行われた。

(檀原 阿部)

1/20

大寒 禊

当会では近畿地区の恒例事業として、毎夏、禊魂の錬成を行っている。その経験を基にあえて厳しい環境下に身を置き、神職としての自己研鑽と行学一致の境地を目指さんとして、此度、令和五年一月二十日大寒の日に合わせて当



会発足初の大寒禊を石上神宮にて開催した。午後二時、参加者は拜殿にて正式参拝。道彦を引き受けて下さった奈良県神社庁助彦・石上神宮禰宜の道上昌幸先輩にもご参列頂いた。その後、禊の装束になり大寒の寒々しい空気を体中を感じながら禊場へ走り、道上先輩の道彦のもと前段の所作を行い、水に入る。痛みとも言うべき水の冷たさに耐え、大祓詞を一巻奏上。水から上がると冷えた身体には水の痕がくつきりと赤く残るも、皆精一杯後段の所作を行い、無事に禊を終えることができた。今までやってきた事も環境を過酷にする事でまた違った見え方がしたようで、参加者全員、初体験の寒中の禊はそれぞれ感じる事があり、貴重な経験になったと皆口を揃えた。行をしたから我々の何かが変わったわけではないが、行をきっかけに我々は変わっていきけるのではないかと感じた大寒禊であった。

(石上 大塚)

1/23

令和四年度 臨時総会

去る令和五年一月二十三日に檀原神宮貴賓館にて会員十六名出席のもと令和四年度臨時総会が開催された。

議事では議長に野々村理事が選出され、次期会長並びに次期監事二名の選出が行われた。次期会長には鈴鹿迪胤君、次期監事には西田周司君・林正裕君が選出され、承認を受けた。

新規役員も多数出席し、次年度へ向けて同一心を新たにす臨時総会を滞りなく終えることができた。



### 次期会長挨拶

高鳴神社 禰宜 鈴鹿 迪胤



先の臨時総会において次期会長に選出いただきました高鳴神社禰宜鈴鹿迪胤です。

来期二年目の令和六年は当会が創立六十周年を迎える節目の年であり、そのような重要な年に会長という大役を預かることになり、大変身の引き締まる思いです。

私自身は兼業神職であったこともあり、神青活動に参加させていただくようになったのは三十歳を過ぎてからでした。現在の会員の中でも活動してきた期間が決して長い訳では無く、神職として、奈良神青会員としてもまだまだ未熟な点もあるかと存じますが、精一杯努めていく所存でございます。

さて、世の中に新型コロナウイルス感染症がまん延してから凡そ三年になります。本年度は状況を注視しながらではありますが、今まで中止を余儀なくされていた恒例の事業をいくつか再開することが出来ました。今まで通り実施できない事業もあったものの、今までにはない事業実施の仕方やそれに向けての会議の仕方を考え、新しい事を学べた期間でもありました。

社会では新型コロナウイルスに関連する規制が徐々に緩和され、コロナ前とは違うウィズコロナの時代へと進んでいます。久保田会長より引き継ぐ事となります先輩諸賢が紡いでこられた伝統をコロナ禍で得た経験も活かしながら、次の世代へとしっかりと繋げられるよう活動を

進めていく所存です。

何卒、皆様方には一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 次期監事挨拶

榎原神宮 権禰宜 西田 周司



先の臨時総会に於いて令和五年度六年度の監事に選出されました榎原神宮の西田周司と申します。

今期は神道青年近畿地区連絡協議会会長として、神道青年全国協議会に出向させて頂きました。奉務神社を始め、OBの先輩方、会員同志の多大なご理解とご協力を頂き間もなく重い任務を終えられる事にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。浅学非才の身で力及ばない事が多々あるうかとは存じますが、全国や地区で得た知識や経験を少しでも多く奈良県神道青年会に還元できるように、そして与えて頂いた役割に恥じる事のなきよう務めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

「暗い水の流れに打たれながら 魚たちのほつてゆく 光つてるのは傷ついてはがれかけた鱗が揺れるから いっそ水の流れに身を任せ 流れ落ちてしまえば楽なのにね やせかけて そんなにやせかけて魚たちはほつてゆく」

中島みゆきさんの代表曲「ファイト」の一節です。青年会の活動は面倒くさいとか、一生懸命する事がかっこ悪いと思っっている会員もいるかもしれません。しかし何事も諦めず、

身を削り一所懸命に頑張るから光ってみえると思えてくれているのだと思います。「青年」という限られた時間です。共に有意義な二年間にしましょう。

### 次期監事挨拶

荒神社 禰宜 林 正裕



先の臨時総会におきまして、令和五年度・六年度の監事を仰せつかりました荒神社禰宜林正裕と申します。

先人の熱き志の元、昭和三十九年八月十六日に誕生した奈良県神道青年会は、令和六年創立六十周年を迎えること相成りました。

この節目の年を麗しく迎えるためにも鈴鹿新会長の下、一丸となってコロナ禍で停滞してしまっている活動を進行、充実させていかなければならないと考えております。

また私も今年入会十一年目三十九歳を迎え、現在と入会当初のメンバーの顔触れを見比べると、そのほとんどが入れ替わっており、活動期間が有限であることを実感し、奈良県神道青年会での自分に残された時間がわずかであることを感じさせられます。

コロナ禍での活動自粛、会員数の減少等、厳しい状況ではございますが、次の世代にしっかりとバトンを繋げるよう、誠心誠意邁進して参ります。

皆様には尚一層のご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

# 令和五年度 新入会員紹介

①生年月日 ②座右の銘 ③趣味 ④休日の過ごし方 ⑤ひとこと

## 榎原神宮



あべ ゆうや  
阿部 裕也

- ① 平成五年一月十八日
- ② 一陽来復
- ③ スポーツ観戦・映画鑑賞
- ④ ドライブ・ショッピング
- ⑤ どうぞよろしくお願いします。

## 春日大社



こやま りくと  
小山 陸斗

- ① 平成十二年一月七日
- ② 自業自得
- ③ ラジオ聴取
- ④ 読書
- ⑤ 若輩者ではありますが何卒よろしく  
お願いいたします。

## 大神神社



なかい たつや  
中井 達也

- ① 平成十一年七月五日
- ② 千里の道も一歩から
- ③ 恐竜
- ④ 映画鑑賞
- ⑤ まだまだ未熟者ですが、より良い自分  
になる為に努力していく所存です。

## 大神神社



せきもと なおき  
関本 奈興

- ① 平成十一年五月十五日
- ② 四月の雨が五月の花を咲かせる
- ③ ドライブ
- ④ 買い物に行く
- ⑤ 日々感謝の気持ちを忘れずご奉仕して  
参りたいと思います。

## 編集後記

先ずはご寄稿、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

長らく続いた新型コロナウイルスに因る自粛、活動の制限が徐々に緩和されつつあり、青年会員各々が蓄えていた力を発揮する機会を今かと心待ちにしております。

生活様式が一変し、青年会としても本来行うべき活動の数々を自粛して参りましたが、この苦境を経験した我々にこそ出来得ることが必ずあると信じ、心新たに邁進していきたいと考えております。

今後共御指導御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

(広報部)

